



令和5年8月8日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米印豪共同訓練（マラバール2023）について

令和5年度インド太平洋方面派遣（IPD23）部隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍、インド海軍及びオーストラリア海空軍と共同訓練を実施します。

1 目的

海上自衛隊の戦術技量の向上並びに米海軍、インド海軍及びオーストラリア海空軍との相互運用性の向上

2 期間

令和5年8月11日（金）～8月21日（月）

（停泊フェーズ：令和5年8月11日（金）～8月15日（火））

（洋上フェーズ：令和5年8月16日（水）～8月21日（月））

3 場所

シドニー及び豪州東方海空域

4 参加部隊

(1) 海上自衛隊

護衛艦「しらぬい」（IPD23第1水上部隊）、特別警備隊

(2) 米海軍

駆逐艦「ラファエル・ペラルタ」、補給艦「ラパハノック」、潜水艦、P-8A、特殊作戦部隊

(3) インド海軍

駆逐艦「カルカッタ」、フリゲート艦「サヒヤドリ」

(4) オーストラリア海軍

駆逐艦「ブリスベン」、揚陸艦「チャールズ」、潜水艦、特殊作戦部隊

(5) オーストラリア空軍

P-8A、F-35A

5 訓練項目等

(1) 停泊フェーズ

艦艇相互訪問、艦上レセプション、スポーツ交流等

(2) 洋上フェーズ

各種戦術訓練（対潜戦、対空戦、対水上戦等）、洋上補給等

6 その他

(1) 日米印豪共同訓練（マラバール）は、平成4年に米印の2国間訓練として始まり、平成19年に海上自衛隊が招待を受けて以降継続的に参加しており、今回で12回目の参加です。

(2) 今回の訓練は、初めてオーストラリア連邦が主催国として実施します。